



Hello! Bonjour! カナダの生活あるある EX 版

初めまして。2017年8月から京田辺市の国際交流員として勤務することになりました、ホー・イーチンと申します。ニックネームはメリーです。広報ほっと京たなべ平成29年12月号のコラム「Hello! Bonjour! カナダの生活あるある」でカナダの自然環境を紹介しました。ここではカナダの有名な動物が描かれている硬貨を紹介します。もしあなたがカナダを訪れた時は、カナダの硬貨を収集してみると面白いかもしれません。



2 Dollar Coin
"Toonie"



1 Dollar Coin
"Loonie"



25 Cent Coin
"Quarter"



10 Cent Coin
"Dime"



5 Cent Coin
"Nickel"



1 Cent Coin
"Penny"

シルバーのコインの中でも一番大きい物が25セントです。クォーターと呼ばれ、ムース(ヘラジカ)が描かれています。シルバーのコインの中で一番小さいものが10セントです。ダイム(砕氷船)と呼ばれ、船が描かれています。そして、硬貨の大きさが中くらいの物が5セントです。ニッケルとも呼ばれ、ビーバーが描かれています。10セントと5セントがいつも間違えそうになるのですが、小さいのは10セントと覚えておくと分かりやすいと思います。動物が好きの方は、コインの裏に描かれている動物で覚えてみてはいかがでしょうか。

カナダの硬貨

カナダの自然環境はとて有名で、硬貨には代表的な動物が描かれています。一番大きいのは1ドルと2ドルの硬貨です。2ドルの硬貨はトゥーニーと呼ばれています。コインの裏側には白熊が描かれています。金色の硬貨は、1ドル硬貨で、ルーニーと呼ばれています。コインの裏側にはカナダガン(水鳥のアビ)が描かれています。

ここからが少しややこしくなります。日本にはない単位が出てきますし、もしあなたがカナダを訪れた時は硬貨の形や色も似てるので気をつけて使ってください。



注意
CAUTION

カナダでは、1セント(ペニーと呼ばれ、メープルが描かれている銅色のコイン)が2013年以降廃止になりました。1セント1枚を作ると1.6セント以上の製造費がかかるらしく、製造も使用もされなくなったようです。そのため、1セントの単位は切り下げられたり、切り上げられたりします。でも、四捨五入ではないので気をつけてください。ちなみにカナダでは消費税は12%です。

でも、四捨五入ではないので気をつけてください。ちなみにカナダでは消費税は12%です。

☆ルール☆

- 1 または 2 セントは切り下げ、0 セントになります。
- 3 または 4 セントは切り上げ、5 セントになります。
- 6 または 7 セントは切り下げ、5 セントになります。
- 8 または 9 セントは切り上げ、10 セントになります。

例えば支払いが、1ドル21セントの場合は、1セント硬貨がないので、上記のルールから1ドル20セントとなります。